

観音山



平尾小学校だより

第11号

令和5年11月15日

力を発揮した学習発表会

11月9日（土）に「学習発表会」を開催しました。新型コロナウイルス感染症は第5類に移行しましたが、長時間の密集を避けるため、今年度も学年ごとの入れ替え制をとりました。その分、観客席にゆとりがあり、また子どもたちを間近で見ていただくことができましたが、出番を待つ間は寒い中をお待たせすることになり、申し訳ありませんでした。

この日に向けて、子どもたちも教員も一生懸命に取り組んできました。劇の台本作りからせりふ、動きを子どもたちに考えさせて、「自分たちの力で創り上げた」という充実感を味わわせた学年もあります。どの学年も「何を伝えたいのか」「どうすれば自分たちの思いが見ている人により伝わるのか」を子どもとともに考え、工夫を重ねてきました。本番は、2日前の予行練習よりもぐんとすばらしくなっていました。その学年のよさが発揮できていたと感じます。

保護者のみなさまには、せりふの練習や衣装・小道具の準備、体調管理にも気を配っていただきありがとうございました。そのおかげで子どもたちがもてる力を発揮できました。

プログラム

- ① 3年生 **ぴかぴかの3年生**
- ② 2年生 **かきこじぞう**
- ③ 1年生 **おおきなかぶ**
- ④ 4年生 **このままじゃ未来があぶない！みんなでやろうSDGs！！**
- ⑤ 5年生 **GOLD'S ～大切なものを見つけた夏～**
- ⑥ 6年生 **思いよ、とどけ 心をひとつに**

きょう、おうちの人におおきなかぶをみてもらいました。きんちょうしたけど、ずこうしつでれんしゅうしたからじょうずにできたとおもいました。たのしすぎてもう1かいやりたかったです。かぞくみんながきてくれてうれしかったです。（1ねん）



今日、学しゅうはっぴょう会の本ばんで、すごくきんちょうして、しんぞうがどきどきだったけど、思いっきり声を大きく出したら、ママが私を見てわらってくれました。とってもうれしかったです。かえったら、ママに「声、大きかった？」とききたいです。（2年）



さいしょはたくさんの方が来ていて、だいじょうぶかな、できるかなと思ったけど、「パフ」も自分ではうまくできたし、お母さんやお父さんがあたたかく見てくれて、とてもうれしかった。自分の出番のときはきんちょうしたけど、ちゃんとせりふもお魚も上手にできたなと思った。「とどけよう このゆめを」もかしをまちがえずに歌って、せいちょうしたなと思った。リコーダーもがんばってれんしゅうして、せいかが出たからうれしかった。れんしゅうの時は時間が足りなかったのに、本番はたい場もあわせて20分ちょうどすごいと思った。(3年)



学習発表会を通して成長したことは、チームワークです。最初、どんなふうによつたらいいのかわからなくてうまくできなかつたけど、みんながたくさん意見を出してくれて、少しずつだけど台本がうまくなっていったときはすごくうれしくて、わたしも負けずにがんばらなきゃと思ってがんばっていたら、いつのまにかみんなとアドバイスすることができるようになりました。それが一番成長したことだと思いました。二つ目は「はっきり、ゆっくり、周りを見ながらしゃべること」です。やる前は大きな声でしゃべることだけを意きして、周りを見たりゆっくりしゃべることが全然できなかつたけど、練習していくうちに意きできるようになってきて、金曜日にはできるようになりました。今後、学校のじゅ業、来年の学習発表会、自分が発表するときには生かしたいです。(4年)



せりふを考えるときは、「何を伝えたいか」「成長したことは何か」「大切なことは何か」を考え、どうしたら短い時間で伝わるか一日中考えました。わたしが考えたもので、少し変わった点はあったけれどほとんど通ったので、一日かけたかいはあるなと思いました。けれど実際にやってみて音の長さやどこから登場するのかなど考えることはたくさんありました。失敗することもありました。ふざけて練習するときもありました。でも。本番が近づいてくると、みんなしんげんにやり始めました。なかなかせりふを覚えられなかつたり、タイミングが合わなかつたりして大変だったけど、もっとよくなるように努力しました。なので、本番は少し間違えたりしたけれど、わたし的には最高の学習発表会になって、もっと最強になれた気がします。(5年)



最初は「ふるさと」をみんなで合わせたら、ぐちゃぐちゃになりました。「空は今」は、みんなどころかパートごとでもリズムが合っていませんでした。「木星」は、今までにないくらい曲が長くて、音もズラーとならんでいて、びっくりしました。初めて全員で合わせたときは、とてもぐちゃぐちゃで何の曲か全くわかりませんでした。だいじょうぶかなと思ったけれど、心を一つに努力してうまくなっていきました。「木星」の最後がどうしても速くなってしまっていたからじゅんた先生が「しき者がしっかり表現しているのに、見ないのは残念」ときびしく言った後から、速くなるのを止めることができるようになりました。待ちに待った本番もミスすることなく楽しくやり切れたから、しっかり練習していたよかったなと思います。小学校最後の発表会が大成功してよかったです。



(6年)